

平成 2 8 年 第 7 回 猪苗代町議会定例会

町長説明要旨（ 9 / 6 ）

本日、平成 2 8 年 第 7 回 猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用の中ご出席をいただき、ご審議をお願いできますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

今議会が開催されるにあたり、平成 2 7 年度歳入歳出決算の認定をはじめ、平成 2 8 年度一般会計補正予算案など、重要な議案を提出いたしておりますので、ご審議をお願いするとともに、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

提出議案の説明に先立ちまして、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

（水稻の生育状況及びブランド化について）

はじめに農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物であります水稻の生育状況ではありますが、田植期以降は比較的好天に恵まれ、気温も平年を上回っていることから、順調な生育となっており、作柄は概ね平年並みで推移している状況であります。

過日、国が発表した8月15日現在の作柄概況によりまして、東北及び福島県におきましては「平年並み」という予想となっております。

去年は、お盆過ぎから低温の日が続いたため、当初期待していた程の作柄までには至りませんでした。が、本年は、このまま推移すれば豊作となり、高い割合で一等米の生産に繋がるものと期待しているところであります。

しかしながら、米をめぐる情勢については、平成30年からの国の大幅な政策の見直しにより、稲作農家はこれまでの様に単に量を生産するだけでなく、売り先を見据えた経営に転換していく必要があるものと認識しております。

そのために、消費者のニーズを的確に捉え、実需者が求める良質な猪苗代産米の生産と販売促進を図っていく必要があることから、農業所得向上に向け、海外への販路拡大も含め、引き続き米のブランド化事業の取り組みを関係機関・団体と連携しながら進めてまいる所存であります。

（有害鳥獣対策について）

次に、有害鳥獣対策について申し上げます。

まず、ツキノワグマにつきましては、去年はドングリなどの堅果類が豊作だったことから、前年

と比較すると出沒・被害件数も大幅に減り、捕獲実績ありませんでしたが、本年につきましては、目撃及び被害件数とも増加しており、捕獲数は8月末現在で9頭を数え、更に、7月には若宮地区の山中において自衛隊員が襲われるという人身事故も発生したところです。

また、イノシシによる被害やニホンザルの出沒範囲も年々拡大している状況であります。

有害鳥獣から農作物や人家等の被害を防止するには、効果的な追い払いに加えて電気柵の設置が最も有効であることから、これまでも多くの集落や個人の方々へ、多面的機能支払交付金や町単独補助金等を活用した電気柵の設置を推進してまいり、大きな効果を発揮しているところであります。

引き続き、住民の方々、そして有害鳥獣駆除員の方々と協力しながら、追い払いと捕獲、電気柵による防止策など様々な対策を通して、有害鳥獣から住民と農作物を守る取組みを行ってまいり所存であります。

（観光振興対策について）

次に、観光振興対策について申し上げます。

はじめに、本年1月から6月までの本町への観

光入り込み数は約 7 7 万人となり、前年同期の 8 8 万 5 千人と比較すると、マイナス 1 1 万 5 千人で、率にして約 1 3 % の減少となりました。

主な要因としましては、暖冬の影響により町内スキー場の入り込み数が約 1 1 万 8 千人減少したことが大きく影響したものであります。

また、三城潟地区や天鏡閣、緑の村や南が丘牧場などでは、昨年の「ふくしまデスティネーションキャンペーン」の反動による減少が懸念されましたが、「アフター D C」への取り組みもあったことから、前年比 0 . 8 % の増加となっております。

これから紅葉シーズン、その後はスキーシーズンを迎えることとなりますので、プレミアム付旅行券の第二弾発行により宿泊者の増加を図るとともに、猪苗代町内のスキー場では、今シーズンから共通リフト券の発行を予定しておりますので、それらの事業支援を行いながら観光誘客に努めて参る所存であります。

（風評被害対策について）

次に、本年 6 月以降の風評被害対策関連のイベントの実施状況について申し上げます。

7 月 3 0 日から 8 月 7 日までの 9 日間、昨年に引き続いて天神浜で開催された、「オハラ☆ブレイ

ク「16 夏」は、音楽をはじめ、美術や写真など、様々なジャンルのアーティストによる「大人の文化祭」をコンセプトに開催され、期間中の来場者は昨年を若干上回る約4千人となりました。

会場には、町商工会青年部、猪苗代青年会議所、JA会津よつば青年連盟猪苗代支部が協力して「猪苗代食堂」が開設され、猪苗代天のつぶと蕎麦を使った「そばめし」や「アスパラの春巻き」、町内の野菜や米、花などが販売されました。

また、農家レストラン「結」では、猪苗代産のトマトやオクラを使った「創作冷かけそば」を販売し、猪苗代町の食の魅力を広く発信できたと捉えております。

イベントの開催内容はフェイスブックなどの「SNS・ソーシャルネットワークサービス」にも掲載され、本町の安全・安心を全国に発信し、風評被害払拭に大きな効果があったと評価をいたしております。

更に、先月13日に開催された、いなわしろ花火大会は、東日本大震災からの復興並びに風評被害払拭を目的に平成23年から実施し今年で6回目を迎えました。

今年の花火大会は、猪苗代町が新たなステージへ進めるよう、テーマを「飛躍」とし、町内関係

団体の協力と町内外から多くのご協賛をいただき、盛大に開催することができました。

事前の新聞やラジオなどによる告知とポスターやチラシを配布いたしましたが、天候にも恵まれたことから、昼の部のイベントを含めた観覧者数は1万5千人となりました。

来町いただきました皆様には、楽しいひと時を過ごしていただくとともに、本町の自然の美しさと、安全・安心を実感いただけたものと確信しております。

（原子力損害の損害賠償請求と支払い状況について）

次に、東京電力の町内事業者に対する損害賠償の状況について申し上げます。

東京電力ホールディングス株式会社津若松補償相談センターからの情報によりますと、本年7月末現在の本町事業者に対する損害賠償金の支払額は、のべ2,960件で、約176億4千万円となっております。

「町東日本大震災風評被害対策会議」では、毎月第2、第4木曜日に町商工会で開催される会津若松補償相談センター主催の相談会について、町民の皆様にはチラシを配布して、町内事業者の皆様

に損害賠償請求漏れがないよう努めて参ります。

（道の駅整備事業の進捗状況について）

次に、道の駅整備事業の進捗状況について申し上げます。

道の駅の工事は、建築本体工事、関連する機械設備工事・電気設備工事、土木関連の敷地造成・外構工事、駐車場舗装工事、防雪柵整備工事等を順次発注し、10月中旬の完成を目標に順調に進捗しているところであります。

本定例会におきましては、猪苗代町地域振興施設、いわゆる「道の駅猪苗代」の指定管理者を、株式会社道の駅猪苗代に指定するための議案を上程いたしておりますので、ご議決を賜りますようお願い申し上げます。

一方、株式会社道の駅猪苗代におきましては、駅長を中心に、重点道の駅の企画提案内容も含めて運営計画を精査し、供用開始を迎える準備も着々と整っております。

道の駅の管理運営に当たりましては、今後も町民各位のご理解とご支援を賜りながら、健全な運営を心掛け、地域振興の核となる施設となるよう引き続き努力して参る所存であります。

（スポーツの推進について）

次に、スポーツの推進について申し上げます。

町は、2020年開催の東京オリンピックに伴うホストタウン構想に基づいて、ガーナ共和国との交流をさらに深めるとともに、リオ・オリンピックに出場するガーナ選手を応援するため、7月21日にガーナ大使館を訪問し、町内の子供たちからガーナ選手への応援メッセージの寄書きを大使にお渡ししてまいりました。

また、8月2日には「全国高等学校空手道選手権」の大会旗を、本年度開催地である山口県長門市より引継ぎましたので、来年7月の大会の成功に向け、着実に準備を進めてまいります。

さらに、10月23日には今年で6回目となる「猪苗代湖ハーフマラソン2016」、10月26日には「第61回福島県高等学校駅伝競走大会」が、猪苗代町総合体育館カメリーナをスタートゴールに開催されます。

これらのスポーツイベントを通じて、本町の魅力を国内外に発信するとともに、今後の受け入れ態勢には万全を期し、おもてなしの心でお迎えいたします。

（文化芸術の振興について）

次に、文化芸術の振興について申し上げます。

亀ヶ城公園に位置する体験交流館「学びいな」と図書歴史情報館「和みいな」は、文化の拠点、憩いの場として、多くの町民の皆様にご利用いただいております。

「学びいな」では、学習の機会と学びの場を提供し、町民の皆様の生涯学習に寄与するため様々な講座や教室を開催するとともに、「学びいな夏祭り」や「斗南藩とその史跡展」など、町体験交流協会加盟団体や各種団体のすばらしい発表や展示が行われております。

10月には今年で5回目となる「野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭2016」が開催され、3日間に渡り、世界的な音楽家によるすばらしい演奏が、町内の各所で催されます。

また、開館3年目を迎えた「和みいな」においては、図書の貸出のみならず、「七夕」や「夜のお話会」など季節に応じた行事とともに、「馬場泰絵画展」や「軽便鉄道モジュール展」などの企画展を開催し、多くの町民の皆様にお越しいただいたところです。

今後も、町民の皆様が安心して施設を利用され、各種発表では実力が充分発揮できるよう、施設の適切な維持管理に努めるとともに、官民協働を推

進して、本町の文化芸術の更なる振興を目指してまいります。

最後に、本定例会に提出いたしました議案について申し上げます。

提出いたしました案件は、
専決処分の報告案件が４件、
平成２７年度決算の認定案件が３件、
平成２８年度補正予算案件が１２件、
条例の一部改正案件が４件、
そして、指定管理者の指定に係る案件が１件の、
計２４件であります。

まず、認定第１号「平成２７年度猪苗代町歳入歳出決算の認定について」であります。一般会計及び特別会計に係る決算書と「平成２７年度決算にかかる主要な施策の成果実績概要書並びに基金運用状況報告書」、監査委員の「平成２７年度猪苗代町各会計決算及び各基金運用状況審査意見書」並びに「平成２７年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、会計管理者より説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

次に、「認定第２号 平成２７年度猪苗代町病院事業会計決算の認定について」及び「認定第３号 猪苗代町水道事業会計決算の認定について」ではありますが、それぞれの決算書と監査委員の「歳入歳出決算の審査意見」と「平成２７年度地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく審査意見書」を添えて提出しております。

決算の内容につきましては、保健福祉課長及び上下水道課長に説明いたさせますので、何卒ご認定賜りますようお願い申し上げます。

以上、提出議案につきましてご説明申し上げましたが、各議案の細部につきましては、それぞれ所管する担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議のうえ、速やかなご議決を賜りますよう、お願い申し上げます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。